

## 「考えること悩むことは、いのちに向き合うこと～福島からのメッセージ」

片岡 輝美 会津放射能情報センター 代表  
宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判 原告・事務局  
これ以上海を汚すな！市民会議 メンバー  
子ども脱被ばく裁判の会 共同代表

### ◆2011年3月11日午後7時3分、原子力緊急事態宣言発令

核事故直後から起きたのは、「情報」と「基準」のコントロール、そして「安心安全キャンペーン」  
年間公衆被ばく限度量1ミリシーベルトが20倍に…福島県民は放射能に強くなったのか？  
3月15日、大混乱だった東京駅…でも、メディアは報道しなかった。  
山下俊一氏「ニコニコしている人には放射能は来ません」「今は国家の緊急時。国民は国家に従うべき」

### ◆会津放射能情報センターの働き

「どのいのちも大切にするために、本当に重要なことを見分けるために、

事実を知る力と真実を見抜く力を身に着けること(フィリピの信徒への手紙 1:9～10)」

活動の柱① 数値の収集と情報の発信 「安全を確認するために測定を続け、情報を共有する」

空間放射線量、食品放射線量、土壌放射線量の測定や情報の共有

メーリングリストやホームページでの「福島原発核事故関連情報」の発信

活動の柱② 人の思いに寄り添う 「いのちを守るために私たちはつながる」

おしゃべり会、健康相談会、活動報告会、甲状腺検査、来館者受け入れ、毎月のタウン情報誌掲載、学習会  
保養プログラム、にいがたはうす運営、元避難者たちのお泊まり会、支援品共有、行政交渉、他団体との連携  
最近の分かったこと NPO 法人市民放射能監視センター「ちくりん舎」リネンとゴミパック測定結果

### ◆報道で見る福島は今

2021/01/26 ANN news 格納容器上部が高濃度汚染 福島第1原発2、3号機

廃炉計画の見直しは必至 30～40年で廃炉は夢物語？ そもそも廃炉の定義は決まっていない

2021/01/28 河北新報 大熊の新校舎 子ども達の夢を形に ワークショップで意見を聞く

学校開設は復興の起爆剤？ 復興のシンボル？

2021/01/31 福島民報 県と各自治体の避難者数に開き

避難者は減っているのではない、減らされている 避難者を「探さない、調べない、助けない」国

2021/03/26 週刊金曜日 3・11から10年 臨床現場からかけ離れた「過剰診断」「検証縮小」論

252人確定または強い疑い、うち203人が手術。再発や転移も…。

2巡目の地域差は明確なのに、強引に研究デザインを変更

2021/05/11 朝日新聞・耕論 合意なき海洋放出

自民党・山本拓衆議院議員 「全漁連が反対しているのに放出方針を決めたことは、罪深い」

### ◆核事故被害を「見えない化・見せない化」する国 ～ 「原発安全神話」から「放射能安心神話」へ

・飯館村、汚染土の再利用実証実験で食用野菜を栽培、除染無しで解除へ

・全国・海外に広がる放射線安全教育…若者の原発見学や文科省「放射線副読本」の配布

・避難区域解除と賠償打ち切りで、帰還と自立が迫られ、福島県に裁判で訴えられる避難者

・語り部に真実を語らせない「原子力災害伝承館」

・米国・ハンフォード核施設をモデルに、大企業を誘致し、教育研究拠点をつくるイノベーション・コースト構想

・伊達市「個人線量データ」無断使用問題、放射能ゴミ焼却問題 その他にも、課題問題は山積…

## ◆本音を言い、強硬的な決定を行う国や福島県、司法に対し、私たちの声を届ける！

- ・原子力規制委員会の「モニタリングポスト2400台の撤去方針」を、市民の声が阻止  
原子力規制庁「次の緊急時には勝手に逃げないでください」  
モニタリングポストは私達の「知る権利」を保証している！
- ・汚染水海洋放出の撤回を求める声は国内外で広がっている  
署名は約45万筆(2020/12時点)、反対や慎重な対応を求める県内自治体は7割、パブコメは4千通  
相次ぐ抗議声明や政府交渉、スタンディング、県民世論調査(20/2・朝日新聞福島放送)57%が反対
- ・子ども脱被ばく裁判:2014年8月福島地裁に提訴、2021年3月1日不当判決を受け、仙台高裁へ控訴  
争点は低線量被ばくや内部被ばくの危険性、子どもを守らなかった福島県や国の不作為  
判決は原子力推進派の「ICRP(国際放射線防護委員会)に従っていればよい」  
広島と福島…共に低線量内部被ばくの被害者であり、核推進のための政治的な被害者
- ・宗教者が核燃料サイクル事業の廃止を求める裁判(宗教者核燃裁判):2020年3月、東京地裁に提訴  
争点は宗教者信仰者が訴える「原子力法制の憲法違反と反倫理性」、「いのちをつなぐ権利」  
原告は239名、弁護団は河合弘之弁護士、井戸謙一弁護士ら。樋口英明元福井地裁裁判長も加わる  
第2回期日(2021/04/08)で、原告陳述を準備書面として朗読し、提出

## ◆私たちの権利を取り戻す

- 日本国憲法第 25 条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」  
2 項「国は、すべての生活部面について、  
社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」  
第 12 条「この憲法が国民に保障する自由と権利は  
国民の不断の努力によってこれを保持しなければならない」

## ◆考えること悩むことは、いのちに向き合うこと

- 私たちは放射能を怖がる無知な母親なのか？ 不安になること、怒ることは悪いことなのか？  
安心安全キャンペーンと科学者のパートナーリズム  
パートナーリズム:強い立場にある者が、弱い立場にある者の利益のためだとして、  
本人の意志にかかわらず介入・干渉・支援することをいう。『疋田香澄氏 科学と人権に誠実であること』  
2013 年 3 月 24 日会津若松市・甲状腺検査説明会にて  
「私たちは不安を解消してほしいのではない。事実を知りたいのです。分かったら私たちが判断する」  
『福島原発事故県民健康管理調査の闇』岩波新書 日野行介  
精神科医・蟻塚亮二氏  
「不安は未来の危険から身を守る黄色信号で、必要な防衛機制。放射能の不安を否定するな！」  
内科医・山崎知行氏「お母さん達の危ないという勘は、専門家よりも正しいですよ」

## ◆主に喜ばれる生き方を吟味する 吟味する…よく調べて選び取ること

- 「何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。(エフェソの信徒への手紙 5 章 10 節)」  
「人よ、何が善であり、主が何を前にお前にとって求めているかは、お前に告げられている。  
正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神と共に歩むこと、これである。(ミカ書 6 章 8 節)」

◆東電福島第一原発核事故の真実を知るために…、核のない未来を築くために…◆

『今、いのちを守る』日本基督教団出版局 片岡輝美  
『子ども脱被ばく裁判意見陳述集Ⅰ、Ⅱ』ままれぼ出版局 子ども脱被ばく裁判の会編  
『災害からの命の守り方～私が避難できたわけ』文芸社 森松明希子  
『原発に挑んだ裁判官』朝日文庫 磯村健太郎 山口栄二  
『弧罌 双葉郡消防士たちの3・11』岩波書店 吉田千亜  
『福島が沈黙した日 原発事故と甲状腺被ばく』集英社 榊原崇仁  
『10年後の福島からあなたへ』大月書店 武藤類子  
『東電刑事裁判 福島原発事故の責任を誰がとるのか』彩流社 海渡雄一  
『福島原発事故県民健康管理調査の闇』岩波新書 日野行介  
『なじよすべー詩と写真でつづる3・11』彩流社 山本宗補 写真 関久雄 詩  
『福島双葉町の小学校と家族～その時、あの時』コールサック社 小野田陽子  
『ふくしま原発作業員日誌 イチエフの真実9年間の記録』朝日新聞出版 片山夏子  
『聞き書き 南相馬』『ふくしま人のものがたり』新日本出版 渡辺一枝  
『原発問題の深層—宗教者の見た闇の力』かんよう出版 内藤新吾  
『原発総被曝の危機 いのちを守りたい』游学社 原子力行政を問い直す宗教者の会  
『増補 放射線被曝の歴史 アメリカ原爆開発から福島原発事故まで』明石書店 中川保雄  
『原発は滅び行く恐竜である』緑風出版 水戸巖  
『漂流するトモダチ アメリカの被ばく裁判』朝日新聞出版 田井中雅人 エイミ・ツジモト  
『「不安」は悪いことじゃない』イースト・プレス 島蘭進 伊藤浩志  
『3・11と心の災害 福島に見るストレス症候群』大月書店 蟻塚亮二 須藤康宏  
『こどけん通信』子どもたちの健康と未来を守るプロジェクト  
『図説17 都県放射能測定マップ+読み解き集』みんなのデータサイト編  
『新版 核兵器を禁止する 条約が世界を変える』岩波ブックレット 川崎哲  
『神様からのファインダー 元米従軍カメラマンの遺産』いのちのことば社 ジョーオダネル・坂井貴美子  
『放射線を浴びたX年後』講談社 伊東英朗  
『核に縛られる日本』角川新書 田井中雅人  
動 画『NHKスペシャル 15歳、故郷への旅～福島の子どものたちの一時帰宅』  
動 画『ゴジラ、改めて核を語る』  
映 画『福島は語る』土井敏邦  
映 画『サマシヨール 遺言プロジェクト』豊田直巳

ブログ 元SF小説家・春橋哲史のブログ「フクイチ事故は継続中」

守田敏也ブログ「明日に向けて」

メディア 民の声新聞、こどけん通信、Our Planet TV、週刊「金曜日」、東京新聞「こちら原発取材班」

団 体 これ以上海を汚すな！市民会議、原発事故被害者団体連絡会(ひだんれん)、FoE Japan

市民放射能監視センター「ちくりん舎」、市民測定室たらちね、みんなのデータサイト

グリーンピースジャパン、3・11甲状腺がん子ども基金、乳歯保存ネットワーク、原子力市民委員会、  
子ども脱被ばく裁判の会、宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判(宗教者核燃裁判)など

会津放射能情報センターのホームページやメーリングリストで「福島原発核事故関連情報」を発信